



2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年7月4日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
コード番号 9414 URL <https://www.bs11.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 和行
問合せ先責任者(役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 阿久井 香織 (TEL) 03(3518)1900
四半期報告書提出予定日 2024年7月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第3四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	9,067	△0.5	1,556	△3.7	1,561	△3.3	1,076	△2.2
2023年8月期第3四半期	9,113	0.4	1,616	△16.2	1,615	△16.3	1,100	△15.5

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 1,076百万円(△2.2%) 2023年8月期第3四半期 1,100百万円(△15.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年8月期第3四半期	60	44	60	37
2023年8月期第3四半期	61	79	61	71

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	25,021		23,219		92.7	
2023年8月期	24,756		22,606		91.2	

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 23,202百万円 2023年8月期 22,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年8月期	—	0.00	—	26.00	26.00	
2024年8月期	—	0.00	—			
2024年8月期(予想)				30.00	30.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	12,600	1.5	1,910	△3.7	1,910	△5.2	1,318	△4.9	74	01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年8月期3Q	17,816,932株	2023年8月期	17,809,632株
2024年8月期3Q	237株	2023年8月期	237株
2024年8月期3Q	17,814,670株	2023年8月期3Q	17,807,936株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する傾向にある中で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れや物価上昇等が我が国の景気を下押しするリスクとなっており、引き続き金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、動画配信サービス市場の拡大等で、ビジネスの機会が拡大する等、環境が大きく変化しております。なお、テレビメディア広告費は、1兆7,347億円(前年比96.3%)となり、そのうち当社を含む衛星放送メディア関連の広告費は、1,252億円(前年比100.1%)となっております。(「2023年日本の広告費」(電通調べ))

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として中長期的な成長を実現するため、重点施策「Value(バリュー)3」を掲げ、引き続き、「コンテンツ価値の最大化」「投資最適化へ向けた意識改革」「放送周辺事業の強化と発展」をテーマに、放送事業に加えて、その他の様々な施策に取り組みました。

[レギュラー番組]

4月改編では、新番組として、音楽番組『若手人気スター歌謡ショー』、「団塊」世代の方をゲストに招くトーク番組『“団塊”物語』、(株)U-NEXTと共同制作の格闘技情報番組『ワールドファイトCLIP! Supported by U-NEXT』の放送を開始いたしました。また、『大人のバイク時間 MOTORISE』では、第51回 東京モーターサイクルショーに本年も出展し、ライブトークとオリジナルグッズの企画・販売を実施いたしました。

ドラマジャンルでは、中国時代劇『黒豊と白夕～天下を守る恋人たち～』や、昭和ホームドラマ『ちょっといい姉妹』、アガサ・クリスティー原作の世界的人気ドラマ『名探偵ポワロ』全13シリーズの一举放送をスタートする等、様々なジャンルの話題作を放送し、コンテンツの拡充に努めました。

[特別番組]

毎年恒例となった(株)京都放送との共同制作番組『京都夜桜生中継2024～世界遺産 東寺を堪能する夜～』の放送や、過去最多の全国各地17の放送局とコラボレーションした『桜前線2024 全国キャスターリレー!～フォトジェニックな桜スポット～』の放送に加え、初の試みとして、オリジナルドラマ『ある日、下北沢で』を東京メトロポリタンテレビジョン(株)と共同で制作し、放送いたしました。このほか、スポーツジャンルでは、各国の代表選手が数多くプレーする女子ソフトボールリーグ『JDリーグ中継2024 第1節 デンソーvsビックカメラ高崎』や、『スポーツで未来をつなぐfrom佐賀』、『2024 羽田盃生中継～ダート三冠 開幕～』を放送、また、俳優でカレーマイスターの資格を持つ山中崇さんがオリジナルカレーづくりに挑戦した『山中崇のオリジナル・カレー ～至福の一杯漫遊記～』等、幅広いジャンルの特別番組の制作・放送にも努めました。

[アニメ関連事業]

「ANIME+」枠では、制作委員会参画作品を含むアニメ関連番組を毎クール約40タイトル放送しており、エンターテインメント情報番組『アニゲー☆イレブン!』や、アニメソング番組『Anison Days』等も引き続き放送しております。また、世界最大級のアニメイベント「AnimeJapan 2024」では、恒例のトークイベントに加え、自社ブース内でのアニメグッズの販売も行いました。このほか、(株)とちぎテレビ主催の「とちてれ☆アニメフェスタ!」に本年も協賛する等、アニメ番組の放送に加え、イベントへの参加や、物販といったアニメ関連の幅広い事業に取り組みました。

【配信コンテンツ】

当社独自の動画配信サイト「BS11+（プラス）」において、アニメ『転生したらスライムだった件』第3期放送に合わせ、アニメ本編の魅力をお伝えする情報番組『転スラ情報局 BS11支部』を制作し、配信いたしました。また、特別番組として放送した『山中崇のオリジナル・カレー ～至福の一杯漫遊記～』では、テレビ放送した本編のほかに、配信オリジナルコンテンツとしてレシピ動画を公開しているほか、テレビ放送終了後も根強い人気のある歴史番組『偉人・素顔の履歴書』では厳選した放送回をBS11公式YouTubeチャンネルにて、期間限定で配信しております。更に、TVerやU-NEXT、FOD、FANYチャンネル、ビデオマーケット等、外部プラットフォームでの配信を充実させるほか、人気のアジアドラマをテレビ放送と連動し配信する等、より多くの方々にBS11のコンテンツを視聴していただけるよう、引き続き配信事業の拡大に努めております。

【その他事業・マルチ展開施策等】

自社制作番組や配信オリジナルコンテンツの派生イベントの実施、通信販売事業等、様々な施策に取り組んでおります。㈱文化放送との協業企画『ワールドダイスターRADIO☆わらじ』では、トークイベント第2弾を実施いたしました。このほか、東京ドームシティプリズムホールで開催された「ご当地よいどれ市2024」にて『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』のトークイベントを実施したほか、㈱京都放送、㈱元気な事務所との3社共同で『おやじ京都呑み』発のトークイベント「おやじに乾杯！」を実施いたしました。また、毎回ご好評いただいております人気ピアニストと注目のヴォーカル・ユニットによるコンサート「貴公子たちの音楽会 Vo1. 4～NEW SEASON～」を開催し、コンサート実施後には、テレビ放送や、YouTube等での配信を実施いたしました。更に、新規事業として、㈱産直と協業で全国各地の食品・逸品を販売する通販サイト「BS11SHOP産直通販」を開設いたしました。今後も放送に加え、配信、その他事業等を通して幅広いニーズに応えることができるよう、努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 9,067,838千円（前年同期比 0.5%減少）となりました。営業利益は 1,556,518千円（前年同期比 3.7%減少）、経常利益は 1,561,958千円（前年同期比 3.3%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,076,670千円（前年同期比 2.2%減少）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 264,908千円増加し、25,021,447千円（前連結会計年度末比 1.1%増加）となりました。主な要因は、現金及び預金が 318,014千円、受取手形及び売掛金が 267,859千円、流動資産のその他に含めて表示している未収消費税等が 102,338千円とそれぞれ減少したことに加え、固定資産の減価償却が進み、有形固定資産が 399,988千円と減少したものの、投資その他の資産に含めて表示している投資有価証券が 1,309,457千円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ 348,703千円減少し、1,801,481千円（前連結会計年度末比 16.2%減少）となりました。主な要因は、短期借入金が 100,000千円、未払法人税等が 51,119千円、流動負債のその他に含めて表示している未払金が 205,860千円とそれぞれ減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 613,611千円増加し、23,219,966千円（前連結会計年度末比 2.7%増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が、前連結会計年度の期末配当 463,044千円により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,076,670千円の計上に伴い 613,626千円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月期の連結業績予想につきましては、2023年10月5日付の「2023年8月期 決算短信」で公表しました連結業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,599,917	13,281,903
受取手形及び売掛金	2,325,022	2,057,163
棚卸資産	526,429	573,400
その他	218,399	109,680
流動資産合計	16,669,770	16,022,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,226,406	2,147,207
土地	4,034,756	4,034,756
その他(純額)	1,369,400	1,048,611
有形固定資産合計	7,630,563	7,230,575
無形固定資産	75,296	58,732
投資その他の資産	380,908	1,709,993
固定資産合計	8,086,769	8,999,300
資産合計	24,756,539	25,021,447
負債の部		
流動負債		
買掛金	696,741	641,203
短期借入金	100,000	—
未払法人税等	268,817	217,698
その他	953,034	811,669
流動負債合計	2,018,593	1,670,572
固定負債		
退職給付に係る負債	108,789	109,299
その他	22,801	21,609
固定負債合計	131,590	130,908
負債合計	2,150,184	1,801,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,186,990	4,190,714
資本剰余金	3,520,780	3,524,504
利益剰余金	14,873,521	15,487,147
自己株式	△234	△234
株主資本合計	22,581,057	23,202,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△21
その他の包括利益累計額合計	—	△21
新株予約権	25,297	17,856
純資産合計	22,606,354	23,219,966
負債純資産合計	24,756,539	25,021,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年5月31日)
売上高	9,113,706	9,067,838
売上原価	4,701,769	4,754,451
売上総利益	4,411,937	4,313,386
販売費及び一般管理費	2,795,689	2,756,868
営業利益	1,616,248	1,556,518
営業外収益		
受取利息	72	140
その他	2,160	7,014
営業外収益合計	2,232	7,155
営業外費用		
支払利息	3,078	1,715
その他	20	—
営業外費用合計	3,099	1,715
経常利益	1,615,381	1,561,958
税金等調整前四半期純利益	1,615,381	1,561,958
法人税、住民税及び事業税	497,030	504,057
法人税等調整額	17,975	△18,769
法人税等合計	515,006	485,287
四半期純利益	1,100,375	1,076,670
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,100,375	1,076,670

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	1,100,375	1,076,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△21
その他の包括利益合計	—	△21
四半期包括利益	1,100,375	1,076,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,100,375	1,076,648
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。